

飯山市出身の小林竜登選手 スキークロス競技でミラノ・コルティナ五輪に出場決定！

太田地区・堀之内出身の小林竜登選手が、2月6日に開幕するミラノ・コルティナオリンピック「フリースタイルスキー男子スキークロス競技」に日本代表として出場することが決定しました。

チームの一員として世界各地で着実に実績を重ね、大会期間中に30歳を迎える今回、見事にオリンピック初出場が決定しました。

ミラノ・コルティナオリンピックの男子スキークロス競技は、2月21日(出)の夜(日本時間)に行われる予定です。市民の皆さんの大きな応援を願います。



小林竜登 選手

なお、テレビ中継される場合には、パブリックビューイング
スポーツ推進課
Tel 0269-671-0746

『スキークロス』ルールと魅力は？

●どんなルール？
1グループ4人で競技が行われ、4人の選手が横一列に並んだゲートから一斉に飛び出します。雪で作られた大きな段差(ジャンプ)、急カーブ(バンク)、連続する凸凹(ウェーブ)が作られたコースを滑り、ゴールした着順で競う競技です。

●オリンピックの順位決定方法は？
まずは予選として、32人の出場選手が1人ずつ滑って、タイムによって4人ずつ8グループに分かれます。そこからは勝ち残り方式(トーナメント)となり、各組の上位2名が次のラウンドへ進出していき、最終的に「ビッグファイナル」と呼ばれる決勝戦で勝ち残った4人がメダルを争います。

●ここが見どころ！
基本的に相手を押しのけたり、進路を故意に妨害したりすることは反則ですが、時速100km近い速度で、数センチの距離で競り合う駆け引きは圧巻。風の抵抗を避けたり、ジャンプの着地で一気に抜き去ったりする一発逆転劇もあり、目が離せません！



●観戦のポイント
コースの途中で順位が激しく入れ替わるため、「最後まで誰が勝つかわからない」のが最大の魅力です。ぜひテレビの前で応援しましょう！

全中・インターハイ・国民スポーツ大会 飯山から出場する選手の皆さん

飯山から全国大会に出場した皆さんをご紹介します。(敬称略、飯山市在住選手)

●第64回全国中学校スキー大会
(2月3～6日、野沢温泉村)

●アルペン 酒井悠真(城北)

●クロスカントリイ 齊藤隆希(城南)、山本湧心(城南)、小林蒼介(城南)、青木晴(城北)、高橋陽斗(城北)、小湊胡太郎(城北)、富井陽友(城南)、山室橙矢(城北)、岡村榛馬(城南)

▽女子 田中希果(城北)、中村雪華(城南)、鷲野ゆりあ(城南)、川久保莉美(城北)、川口真(城北)、松澤怜愛(城北)

▽ジャンプ・コンバインド 村山仁汰(城南)、吉越悠人(城北)、齊藤祥真(城南)

●第75回全国高等学校スキー大会
(2月4～8日、クロスカントリイ…新潟県十日町市、ジャンプ・コンバインド…北海道名寄市)

●クロスカントリイ 伊東咲幸(飯山)

▽女子 飯山高校男子(4名)、飯山高校女子(3名)

▽ジャンプ・コンバインド 坂本季花(飯山)

▽ジャンプ女子 村山未来翔(飯山)

●第80回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会(2月14～17日、アルペン・クロスカントリイ…青森県大鰐町、ジャンプ・コンバインド…秋田県鹿角市)

▽アルペン 高橋駈琉(日本大学)

▽成年男子A 高橋和花菜(ホクトスキークラブ)

▽成年女子B 浦野裕之(飯山小学校教諭)

▽少年男子C 村山未来翔(飯山高校)

▽少年女子 田中希果(城北中)、伊東咲幸(飯山高校)

▽成年女子A 小坂璃彩(日本大学)

▽成年女子B 小林千佳(長野県野自動車S.C.)

▽少年男子 村山未来翔(飯山高校)



1月30日、飯山市役所を訪れ全国中学校スキー大会出場を報告した選手・コーチの皆さん。

3月8日は国際女性デーです

「国際女性デー」は毎年3月8日を女性の社会参加と地位向上を訴える日として、国連により1975年に定められ、女性の活躍と勇気を称えとともにジェンダー平等の実現をめざすイベントが世界各地で行われています。

「国際女性デー」をきっかけに、家庭、地域、職場など身近なところから男女の役割分担や女性の参画、性別にとらわれず「自分らしく」人生を歩んでいくことを、見つめなおしたり話し合ったりしてみませんか。

2026 国際女性デー テーマ
「権利、正義、行動。
すべての女性と少女のために。」

パブリックコメントで意見をお聞かせください 飯山市犯罪被害者等支援基本計画(案)

飯山市では犯罪被害者等支援に関する考え方や具体的な支援対応についてまとめた「飯山市犯罪被害者等支援基本計画」を策定する予定です。

この計画(案)について、飯山市にお住まいの方や働いている方など、広くご意見をお聞きするため、次のとおり意見を募集します。

計画(案)の閲覧場所
飯山市役所3階 人権政策課
Tel 0269-671-0743

「差別のない明るい飯山市を築く審議会」 公募委員を募集します

互いに個性や多様性を尊重し合い、支え合う社会の実現をめざし、幅広い視点から調査及び審議を行っている「差別のない明るい飯山市を築く審議会」では、令和8年(2026年)4月から2年間の任期で活動いただく公募委員(若干名)を次のとおり募集します。市の人権施策を、ともに考え、進めてくださる方のご応募をお待ちしています。

応募資格
①飯山市に住居登録し居住している18才以上の方
②飯山市の他の審議会等の公募委員でない方 など
募集期間
令和8年(2026年)2月25日(水)から同3月25日(水)まで
☆応募方法など詳細は、市ホームページをご覧ください
か、人権政策課(Tel 0269-671-0743)までお問い合わせください。

課窓口または飯山市ホームページ(2月16日以降、閲覧いただけます)
意見の提出期限
令和8年(2026年)3月17日(火)午後5時まで
詳しくは、飯山市ホームページまたは人権政策課までお問い合わせください。
お問い合わせ
人権政策課
Tel 0269-671-0743

学習権 シリズ

障がいのある人と人権

長野地方事務局飯山支局長 宮澤 賢次

みなさんは障がいのある人が困っていたらどうしますか？

「声をかける」「見て見ぬふりをする」など様々な方がいると思いますが、「どうすればいいのかわからない」という方も多いのではないのでしょうか。

障がいのある人もない人も、全ての人にとって住みよい社会を実現するためには何が必要なのでしょう。

障がいのある人とは、身体障がい、知的障がい、精神障がい(発達障がいを含む)や、心身の機能に障がいがあったり、障がいや社会の中の障壁によって生活に制限を受ける状態にある人と言えます。

この障がいの考え方が、近年変化しています。かつて、障がいのある人が日常生活で制限を受けるのは「その人に障がいがあるから」であり、訓練やリハビリによって乗り越えるべきであると考えられてきました(個人モデル)が、今では、社会が人の多様性に対応できてい

ないために、多くの障壁を作り出し、それが障がいとなっているため、社会がそれを取り除いていかなければならないとする考え方(社会モデル)が浸透しています。2016年、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」が施行され、2021年に同法律が改正されました。

この法律は、障がいがあってもなくても、誰もが分け隔てられることなく、お互いの人格と個性を尊重した差別のない社会の実現を目指しています。

「障害者差別解消法」は、行政機関と民間事業者に対し、障がいのある人への不当な差別的取扱を禁止するとともに、合理的配慮の提供を求めています。私たち一人一人に対してそれぞれの立場における自発的な取組を促しています。